

(1) 令和 5 年度 事業報告

我が国経済は、30年ぶりの高い水準となる賃上げ、設備投資、株価など、前向きな動きにより、景気は一部に足踏みも見られたが、穏やかに回復した。

一方、長年にわたる公共投資の削減、人口減少や高齢化の進展による技術・技能者の高齢化や若年入職者の減少により技術・技能の継承の困難化、資材単価・人件費の高騰など多くの問題が山積しており、依然として厳しい経営環境を余儀なくされた。

このような中、建設業界にあって唯一樹木や草花などの「生き物」を扱い自然と調和した社会資本整備の一翼を担う一般社団法人として、門松づくり、造園技能検定講習会等の造園技術の継承など、広範な公益事業を展開し造園業界の知名度向上に努めてきた。

また、技術の向上と人材の育成、情報の収集と提供などの会員企業の発展及び関係機関との連携に努めてきた。

1 主な事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 海岸保安林再生支援

広葉樹による九十九里海岸保安林の再生を目指し、平成28年3月、ウバメガシ、シャリンバイなど9樹種614本の広葉樹を植栽した「千葉県造園協会の森（横芝光）」の県との協定期間が令和5年3月31日終了した。

令和5年7月、7年間にわたる生育調査と広葉樹植栽樹種の選定などの考察を取りまとめた報告書について、北部林業事務所・森林研究所担当者に説明及び森林課に提出した。

イ 伝統技術の継承

① 和風庭園づくりにおける基本的技術・技能の習得のため、県内外の造園環境緑化に携わる者を対象に、実技講習及び関係法令、工法、安全管理などの座学講習を行い造園技能士及び後継者育成に努めた。

② 造園に係る伝統技術継承の一環として、「本格的門松づくり講習会」を開催し、完成した門松を県庁、こども病院など3箇所に寄贈した。

また、伝統文化の魅力を身近に知っていただくため、「ミニ門松づくり講習会」を一般市民対象に開催し、家庭に伝統的風物詩として飾られた。

ウ 防災協定に基づく県立都市公園の安全確保と支援

① 知事及び地域の土木事務所と締結している防災協定に基づき、県からの要請に迅速かつ的確に対応するため、1月17日予定されていた令和5年度県土整備部震災訓練は1月1日発生の能登半島地震の支援等のため中止となったが、同日予定していた協会独自の「災害情報伝達訓練」は地震等の災害に迅速に対応するため実施した。

また、「災害応急対応に係る本部員・施工業者・班長合同会議」を開催し、情報伝達訓練の課題と改善点等の検討を行った。

② 9月の台風13号により線状降水帯が発生し、記録的な大雨で県立長生の森公園が被災したが、県との災害細目協定に基づく施工業者により、災害応急復旧工事が早期に実施された。

(2) 会員支援事業

ア 技術・技能の向上と人材の育成

- ① 会員の技術・技能の向上はもとより造園専門資格取得を支援するため、造園技能検定実技試験講習会及び（一社）日本造園建設業協会千葉県支部との共催により街路樹剪定士研修会を開催した。
- ② 技術・技能等の向上を図るため「実務者セミナー」を開催した。
- ③ 造園技能検定実技試験の受検対策として、自主的に練習できる場所の設置及び材料等の提供を行った。

イ 人材の確保

- ① 技術者の高齢化が進行する一方で若年者の入職が少ないことから、造園業の持続的な発展に必要な若年者を確保するため、造園課程のある高等学校等と就職について情報交換会を行った。
- ② アグリサポーターズちば主催の「高校生のための農業関係就業相談会」に参加し、造園業の仕事の紹介、生徒・保護者との相談を行った。
- ③ 県立茂原樟陽高等学校土木造園コースの生徒に対し、造園技術の座学と校内の樹木剪定実習について、出前授業を行った。
- ④ 県立我孫子高等技術専門校造園科生徒に、街路樹剪定士実技試験の剪定見学と「街路樹とは」の講習を幕張勤労市民プラザにおいて実施した。
- ⑤ C C I ちば（千葉県魅力ある建設事業推進協議会）が実施する後継者育成活動として、今年度初の試みとして、造園業に特化した「千葉県の建設業・造園業のお仕事」について、市川市立塩浜学園及び栄町立安食台小学校の出張授業に講師を派遣した。

ウ 情報の収集と提供

- ① 機関誌「ちばの緑」や「協会だより」の発行により協会員のみならず、県や市町村を始め、関係機関・団体に協会活動や造園に関する情報を提供した。
- ② 千葉県造園技能検定推進委員会は令和5年10月で設立50周年となり、今後の造園技能検定推進活動の礎となる「設立50周年記念誌千葉県造園技能検定推進委員会のあゆみ」を10月発刊し、会員に送付した。
- ③ 「令和5年度千葉県都市協会・千葉縣市街地整備推進協議会・千葉県公園緑地整備促進協議会合同講演会」において、榊原正和副会長が「緑地計画・整備、街路樹管理」について講演を行った。

エ 公園整備工事における造園工事の発注要望

県の令和5年度公園整備工事の発注見通し（6月時点）では、造園工事の割合が20%余りで他は土木一式工事などのため、県立公園のある7つの土木事務所に「公園整備工事における造園工事発注の要望書」を提出し、造園工事発注の拡大を図った。

(3) 協会基盤強化事業

ア 関係機関との連携

- ① 県関係部局と意見交換会を開催し、協会活動に対する理解を深めていただくため、海岸保安林の再生、門松づくり講習会と寄贈などの活動を紹介しながら関連する要望とともに、会員からの、緑地管理・道路清掃委託業務における「一抜方式」の早期導入、県新規採用の造園職種の募集、道路管理における除草剤の使用等32項目について意見交換を行った。
- ② 東京都が当番県として主催した「関東甲信造園建設業協会協議会」に参加し、関東大震災から100年目の節目となるため、震災等の災害をテーマに、東京臨海広域防災公園、東京都慰霊堂、東京都復興記念館の視察と「公園緑地と防災対策」、「県庁等の造園技術職の採用状況」「除草剤の使用」「働き改革の支援」等について意見交換を行った。